

平成 29 年度 通常総会議事資料

<2017 年 5 月 28 日>

<議 事>

- 1 日 時 平成 29 年 5 月 28 日（日） 15:15～17:15 受付開始 15:00
- 2 会 場 電気ビル（共創館）3階 大会議室
福岡市中央区渡辺通2-1-82
- 3 付議事項 第一号議案 平成 28 年度事業報告並びに決算及び監査報告について
第二号議案 平成 29 年度事業計画並びに予算について
第三号議案 平成 29 年度役員を選任について
第四号議案 定款の一部変更について

特定非営利活動法人

日本ファシリテーション協会

平成28年度事業報告

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

平成28年度は、「越えてつなげる」をテーマに、FAJの全国ネットワークの強みを活かしながら、地域や分野、組織を越える実践的な取り組みを行った。

調査・研究事業: 定例会、例会やプロジェクト等において、「越えてつなげる」をテーマに、非会員も含むFAJ内外のファシリテーターとの研鑽の場づくりを進めるとともに、各支部とサロンをオンラインでつなぐ定例会などにより、新しい探求の場の可能性を開いた。

教育・普及事業: 参加者満足度の高いセミナーとそのアフターミーティングを全国で開催した。アソシエイツ制を導入した新たな体制で、各地域間のサポートなど運営のレベルアップ策の協議を開始した。

支援・助言事業: ファシリテーションサポート委員会の本格始動により、組織外に向けて、求められる現場にファシリテーションを届ける支援を行った。東日本大震災の復興支援を継続して行うとともに、熊本地震被災地において復興に向けた話し合いの支援を、助成金を得ながら行った。

交流・親睦事業: 全国各支部で組織内外の交流を促進する地域イベントを開催したことをはじめ、在外日本人ファシリテーターや在住外国人との交流を図った。日本におけるファシリテーションの知見を海外に発信すべく、東日本大震災の復興支援活動報告書の英訳に着手した。

広報・コミュニケーション活動: 昨年度に引き続き「オープン FAJ」を実施し、FAJ内の活動や知見、事例を組織外に発信した。FAJの新しい取り組みを紹介するニュースレターを年4回発行した。また、ウェブサイトにおいては、セキュリティ対策として一部機能の新サーバー移行に取り組んだ。

ミッションおよび組織運営に関わる活動: 「越えてつなげる」の実践を促進するテーマ型サロンが3つ(平成29年4月1日設立含む)、新たな地域型サロンが3つ立ち上がった。組織運営力の向上と地域拠点・委員会間のスタッフ交流などを目的とする全国運営スタッフ会議を開催し、持続的な組織運営についての検討を行った。

以下、事業計画に沿って、事業の概要を報告する(括弧内は担当組織を表す)。

1 ファシリテーション技術の確立や新しい技術の開発を目指す調査・研究事業

1) 実践力の相互研鑽の場づくりの推進(理事会、各支部運営委員会、プロジェクト)

- 定例会、例会やプロジェクト等において、様々なテーマで相互研鑽の場が主体的に運営された。“越えてつなげる”をテーマに、FAJ内外のファシリテーターを招き探求の場を作った。
- 定例会を非会員に開くことを試み、共に研鑽する定例会のあり方や運営の課題を検証した。
- 各支部、サロンをオンラインでつないだ定例会・例会が開催され、新しい探求の場の可能性を開いた。
- 実践プロジェクトで開発したプログラムを使った定例会を実施し、実践力を測るアンケートを行い、定例会後の相互支援の場づくりを試みた。これらの実施内容を踏まえた知見をまとめ、会員に向けて報告書を公開した。

2) ファシリテーションの本質を研究(シンポジウム実行委員会)

- 平成28年5月に名古屋で4回目のシンポジウムを開催した。250名を超える参加者が集った。14件の自由研究発表に加え、テーマセッションとして、7つのテーマで25件の発表が実施された。また、9チームによるF力測定が実施された。

2 ファシリテーター養成や実践方法の普及を目指す教育・普及事業

1) 従来の公開セミナーの継続強化(公開セミナー委員会)

- 別紙の通り、28 会場 42 クラスのセミナーを開催した。またアフターミーティングを 5 回開催した。
- 新たに正講師1名、准講師1名が誕生した。また、講師トライアルや講師トレーニングの運用を見直し、講師育成、スキルアップの機会を充実させた。
- アソシエイツ制を導入した新たな体制構築のもと、セミナー委員会を2回開催し、各地域間のサポート体制構築や集客確保など運営のレベルアップ策の検討を開始した。

2) 公開セミナーの新たな展開の検討(理事会、公開セミナー委員会)

- 基礎セミナー講師による新しいセミナー検討チームを立ち上げ、公開セミナー実践編のパイロット版を作成した。

3 各種団体におけるファシリテーションの活用をサポートする支援・助言事業

1) 新しい仕組みの検証と安定的な運営に向けた基盤の構築(ファシリテーションサポート委員会)

- 外部からの相談・依頼に対し、求められる現場にファシリテーションを届けることを通じて、新しい仕組みによる運用を開始した。その実施に際しては、分野や地域性を踏まえて、会員にファシリテーターとして協力を依頼した。
- 計画以上の件数の相談・依頼に対応をしたが、安定的な事務体制の整備に課題を残した。

2) 社会からの多様な要請に対する支援(ファシリテーションサポート委員会)

- サポートデスクでは、営利・非営利を含む多様な領域からの 100 件を超える相談・依頼に対し、研修、ワークショップ等のファシリテーションを通じた場作りにより、37 件の支援を実施した。
- 災害復興支援グループでは、昨年実績を超える 43 件の支援を行った。東日本大震災被災地復興支援の継続に加え、熊本地震に伴う被災地での復興に向けた支援を行った。当初計画になかった熊本への支援活動に対する助成金を得て、支援に係る費用の一部を補った。
- 教育ファシリテーション推進グループでは、当初予定していたアクティブラーニング養成講座が開催できなかったこと等から、教育関連機関等への提言はできず、教育分野に関する外部からの要請に対する支援や現場ニーズの掘り起こしにとどまった。

4 ファシリテーターや関連団体間の親睦を図る交流・親睦事業

1) 地域イベントを開催(各支部運営委員会、地域イベント実行委員会)

- 北海道・東北・東京・中部・関西・中国各支部で、“越えてつなげる”を意識し、様々なテーマで地域イベントを開催した。

2) 国境や文化・言語を越えてつなげる活動強化(理事会、グローバルファシリテーション推進委員会)

- 在北京日本人ファシリテーターや在住外国人留学生へのワークショップの提供や情報提供・交流を図った。
- IAF-Japan のメンバーを招き、英語のみの定例会を複数回開催した。
- 日本における知見を海外に発信すべく、災害復興支援活動報告「ファシリテーション わたしたちができること」の英訳に着手した。

3) 他団体との連携強化(理事会、各支部運営委員会、グローバルファシリテーション推進委員会、事務局)

- 他団体のイベントに、ファシリテーターとして協力する取り組みを行った。
- 昨年度に引き続き、行政、関係機関、企業などの後援・協力・協賛を得て支部イベントを開催した。
- IAF-Japan との共催で「ワールド・カフェ アジア パート2」を開催し、オンラインと会場をつなぐ新しい試みを行った。

5 広報・コミュニケーション活動

1) インフラの強化(ウェブ編集委員会)

- セキュリティ対策を優先し、一部機能を新しいサーバーに移行した。

2) 広報・コミュニケーション機能を強化するための体制検討(理事会)

- 広報・コミュニケーションを強化するための新たな体制の検討に着手したが、結論には至らなかった。

3) オープン FAJ の開催(理事会、ウェブ編集委員会)

- 昨年度に引き続き、オープン FAJ を開催し、組織内の様々な活動や過去の資産を活用して、ファシリテーション実践の事例を発信した。

4) ファシリテーションの実践に役立つ情報の提供(ニューズレター編集委員会)

- FAJ の新しい取り組みや FAJ 内外における分野×ファシリテーションの取り組みを取材し、年4回、ニューズレターを発行した。
- 定例会やイベント、公開セミナーなどでニューズレターの閲覧や配布を行い、入会を検討する非会員に向けて FAJ の活動を紹介した。

6 ミッションおよび組織運営に関わる活動

1) 運営体制の拡充・強化と最適な運営方法の検討(理事会、事務局)

- テーマ型サロン立ち上げを支援するガイドを作成し、会員に向けて公開した。3つのテーマ型サロンが立ち上がった。また新たに3つの地域型サロンが立ち上がった。
- 拠点・スタッフ間の交流、運営力の向上、組織の方向性を共有することを目的とした全国運営スタッフ会議を開催した。
- ファシリテーションサポートプログラム事業において、昨年4月熊本・大分地震の被災地支援に伴い、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議「平成28年熊本地震災害被災地支援活動団体助成事業」に申請し、2,284千円の助成を受けた。

2) 各種制度改正への対応(理事会、事務局)

- 特定非営利活動促進法の改正に対応した。

I 特定非営利活動に係る事業

1. 調査・研究事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数		
				会員	一般	
北海道支部 定例会	4月2日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室2	3	28	4	
	5月7日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室、2	5	31	7	
	6月4日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室2	2	44	2	
	7月2日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室、2	7	16	3	
	8月6日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室	4	23	3	
	9月3日、4日	北海道小樽市 ロッジ ガルミッシュ	5	24	0	
	10月1日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室2、サークル活動室5	5	20	3	
	11月5日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 大研修室	4	20	2	
	12月4日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室2	3	26	3	
	1月7日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 大研修室	8	13	1	
	3月4日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 3階 研修室5、6	5	18	0	
受益対象者延べ人数				291		
東北支部 定例会	4月9日	宮城県仙台市 仙台市市民会館 第1会議室	3	12	12	
	5月21日	宮城県仙台市 仙台市市民会館 第4会議室、第7会議室	5	13	5	
	6月19日	宮城県仙台市 仙台市市民会館 第2教養室、視聴覚室	4	13	7	
	7月16日	宮城県仙台市 仙台市市民会館 第3会議室	2	8	1	
	8月20日	宮城県仙台市 仙台市市民会館 第4会議室	2	5	6	
	9月17日	宮城県仙台市 仙台市市民会館 第6会議室	2	11	3	
	10月16日	宮城県仙台市 仙台市市民会館 第7会議室	1	10	5	
	11月23日	宮城県仙台市 仙台市市民活動サポートセンター4階 研修室5	3	5	4	
	12月17日	宮城県仙台市 こども学心舎	4	4	5	
	2月11日	宮城県仙台市 仙台市市民会館 第5会議室	3	8	5	
	3月18日	宮城県仙台市 仙台市戦災復興記念館 第4会議室	3	11	15	
	受益対象者延べ人数				168	
	東京支部 定例会	4月23日	東京都品川区 スクエア荏原 イベントホールA、B、C、大会議室、中会議室	30	119	15
5月22日		東京都北区 北とびあ 第1研修室、第2研修室A、B、701会議室、第2和室	27	99	10	
6月10日		東京都港区 生涯学習センター(ばるーん)304学習室	34	107	13	
6月25日		東京都品川区 きゅりあん イベントホールA、B、第2特別講習室、東京都葛飾区 かつしかシンフォニーヒルズ コンチェルト				
7月23日		東京都目黒区 大橋会館 201、205、207教室、中教室	26	105	11	
8月10日		東京都港区 生涯学習センター(ばるーん)304学習室	29	113	4	
8月27日		葛飾区 かつしかシンフォニーヒルズ コンチェルト、ライラック、ビジュアルルーム、メヌエット				
9月24日		東京都文京区 LMJ東京研修センター 3F大会議室、3F小会議室、4F大会議室、5F大会議室	24	109	6	
10月14日		東京都港区 慶應義塾大学 三田キャンパス 北館会議室2	33	110	5	
10月22日		東京都品川区 きゅりあん 大会議室、第1特別講習室、第2特別講習室、研修室				
12月9日		東京都港区 生涯学習センター(ばるーん)304学習室	35	90	6	
12月17日		東京都北区 北とびあ 第二研修室、701会議室、901会議室、902会議室				
1月28日		東京都北区 北とびあ 第一研修室、701会議室、802会議室、901会議室	14	100	15	
2月25日		東京都品川区 スクエア荏原ホールA、B、C、大会議室、第一スタジオ	24	93	18	
3月25日	東京都目黒区 大橋会館201、207会議室、大教室、中教室	26	92	5		
受益対象者延べ人数				1,245		
中部支部 定例会	4月16日	愛知県名古屋市 東生涯学習センター集會室、東桜会館第2会議室	7	26	11	
	5月21日	愛知県名古屋市 東桜会館第2会議室、集會室	6	26	0	
	6月18日	愛知県名古屋市 東生涯学習センター第2集會室、宝珠院	5	34	4	
	7月16日	愛知県名古屋市 東桜会館第2会議室、東生涯学習センター第2集會室	7	44	20	
	8月20日	愛知県名古屋市 東生涯学習センター第2集會室、第3集會室	6	24	6	
	9月17日	愛知県名古屋市 東桜会館第2会議室、東生涯学習センター第2集會室	7	31	17	
	10月15日	愛知県名古屋市 東桜会館第2会議室 東生涯学習センター料理室、	8	33	9	
	12月17日	愛知県名古屋市 東桜会館第2会議室、東生涯学習センター第2集會室	4	34	19	
	1月21日	愛知県名古屋市 東桜会館第2会議室、北生涯学習センター第三集會室	8	45	21	
	2月25日	愛知県名古屋市 昭和生涯学習センター第2集會室	3	21	3	
	3月18日	愛知県名古屋市 東生涯学習センター第2集會室、第4集會室	6	34	9	
	受益対象者延べ人数				471	
	関西支部 定例会	4月9日	京都府京都市 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス	11	35	8
5月14日		大阪府吹田市 ディオス北千里 レンタルスペース、Koike Music Studio	5	51	13	
6月11日		兵庫県西宮市 西宮市民会館	8	73	18	
7月9日		大阪府大阪市 ドーンセンター、難波御堂筋ホール	5	81	37	
8月6日		兵庫県西宮市 西宮市民会館	12	50	2	
9月10日		大阪府大阪市 難波市民学習センター	8	76	2	
10月8日		兵庫県西宮市 西宮市民会館	14	75	5	
11月12日		大阪府大阪市 アネックスパル法円坂	13	71	13	
12月10日		大阪府大阪市 スリーエムジャパン株式会社 大阪支店、大阪市立東洋陶磁美術館	15	71	1	

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数		
				会員	一般	
関西支部 定例会	1月14日	兵庫県西宮市 西宮市民会館	5	38	2	
	3月11日	兵庫県西宮市 西宮市民会館	11	64	6	
	受益対象者延べ人数				792	
中国支部 定例会	4月16日	広島県広島市 西区民文化センター 大会議室	3	10	5	
	5月21日	広島県広島市 合人社ウェンディひとまちプラザ ギャラリーA	3	12	6	
	6月18日	広島県広島市 合人社ウェンディひとまちプラザ マルチメディア	2	7	1	
	7月16日	広島県広島市 西区民文化センター 大会議室	3	12	0	
	8月20日	広島県広島市 西区民文化センター 大会議室	3	13	5	
	9月17日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	3	12	3	
	10月15日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)505中講義室	4	13	3	
	11月19日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	4	11	3	
	12月17日	広島県広島市 三篠公民館 調理室	3	7	2	
	1月21日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)505中講義室	3	7	1	
	2月25日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	4	5	5	
	3月18日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	4	8	6	
	受益対象者延べ人数				157	
九州支部 定例会	4月2日	福岡県春日市 クローバープラザ セミナールームAB	4	16	5	
	5月7日	福岡県福岡市 健康づくりサポートセンターあいいふ 視聴覚室A	4	36	5	
	6月4日	福岡県福岡市 健康づくりサポートセンターあいいふ 研修室A	4	30	3	
	7月2日	福岡県福岡市 NPO・ボランティア交流センター あすみん セミナールーム	2	24	3	
	8月6日	福岡県福岡市 健康づくりサポートセンターあいいふ あいいふ 視聴覚室A+B	4	26	0	
	9月3日	福岡県福岡市 NPO・ボランティア交流センター あすみん セミナールーム	3	21	4	
	10月1日	福岡県春日市 クローバープラザ 視聴覚室、セミナールーム	5	19	1	
	11月5日	福岡県福岡市 NPO・ボランティア交流センター あすみん セミナールーム	3	15	5	
	12月3日	福岡県春日市 クローバープラザ 調理実習室、創作工房	8	23	1	
	1月7日	福岡県福岡市 NPO・ボランティア交流センター あすみん セミナールーム	3	15	0	
	3月4日	福岡県福岡市 健康づくりサポートセンターあいいふ 実習室、視聴覚室AB	5	22	6	
	受益対象者延べ人数				280	
	ファシリテーション・ シンポジウム	5月28日～29日	愛知県名古屋市 名古屋国際会議場	53	252	0
	受益対象者延べ人数				252	
アートファシリテ ーション	5月13日	渋谷区 Public House	1	3	0	
	5月23日	渋谷区 Public House	1	1	0	
	6月7日	渋谷区 Public House	1	1	0	
	7月12日	世田谷区 the Association	1	6	0	
	8月27日	港区 港区勤労会館	1	4	0	
	9月4日	港区 港区勤労会館	1	4	0	
	10月15日	葛飾区 小川邸(おかちさん宅)	1	2	0	
	1月5日	渋谷区 Public House	1	2	0	
	2月10日	中央区 人形町区民館	1	3	0	
	3月16日	世田谷区 the Association	1	2	0	
受益対象者延べ人数				28		
TOC×ファシリ テーション	4月2日	WEB会議	1	8	0	
	4月9日	WEB会議	1	8	0	
	4月18日	WEB会議	1	8	0	
	5月1日	WEB会議	1	7	0	
	5月8日	WEB会議	1	4	0	
	5月12日	WEB会議	1	3	0	
	5月20日	WEB会議	1	3	0	
	5月22日	WEB会議	1	3	0	
	6月11日	WEB会議	1	7	0	
	6月19日	WEB会議	1	7	0	
	6月26日	WEB会議	1	7	0	
	7月3日	WEB会議	1	7	0	
	7月9日	WEB会議	1	7	0	
	7月10日	WEB会議	1	3	0	
	7月17日	愛知県名古屋市 東海学園大学・高等学校	5	0	7	
	8月2日	WEB会議	1	3	0	
	8月7日	WEB会議	1	3	0	
	8月20日	WEB会議	1	3	0	
	9月4日	WEB会議	1	4	0	
	9月11日	WEB会議	1	3	0	
9月18日	WEB会議	1	4	0		

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
TOC×ファシリテーション	9月25日	WEB会議	1	4	0
	10月2日	WEB会議	1	4	0
	10月31日	WEB会議	1	4	0
	11月12日	WEB会議	1	6	0
	11月20日	WEB会議	1	3	0
	11月23日	WEB会議	1	3	0
	11月30日	WEB会議	1	2	0
	12月11日	WEB会議	1	2	0
	12月20日	WEB会議	1	2	0
	1月4日	WEB会議	1	3	0
	1月8日	WEB会議	1	7	0
	1月15日	WEB会議	1	2	0
	1月21日	WEB会議	1	2	0
	1月29日	WEB会議	1	2	0
	2月5日	WEB会議	1	2	0
	2月25日	大阪府大阪市 一般社団法人エデュケーションライフ会議室	1	6	0
受益対象者延べ人数					163
地域行政×ファシリテーション	4月5日	WEB会議	1	3	0
	4月6日	WEB会議	1	3	0
	5月10日	WEB会議	1	2	0
	5月28日	WEB会議	1	3	0
	1月29日	東京都港区立生涯学習センター ばる〜ん	1	3	0
	3月31日	WEB会議	1	3	0
受益対象者延べ人数					17
サロンサポート	—	地域型11か所(秋田・埼玉・群馬・新潟・富山・和歌山・岡山・四国・熊本・佐賀・沖縄)、テーマ型2か所(ビジネスファシリテーション・TOC×Facilitation)	—	—	—
受益対象者延べ人数					0

2. 教育・普及事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数		
				会員	一般	
公開セミナー	4月16日	大阪・男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)	9	20	19	
	5月21日	港区 機械振興会館(東京都)	20	28	32	
	6月18日	京都府中小企業会館	11	9	32	
	6月18日	博多バスターミナル 第14号室	7	12	8	
	6月25日	沖縄産業支援センター	4	0	8	
	7月16日	麻布台セミナーハウス(東京都)	20	23	34	
	7月23日	parm-city131Room5A(仙台市)	5	8	12	
	9月4日	ABC会議室(名古屋市)	6	8	12	
	9月17日	麻布台セミナーハウス(東京都)	18	16	41	
	10月15日	博多バスターミナル 第14号室	5	0	16	
	10月22日	函館新都市病院	3	4	13	
	11月6日	群馬県公社総合ビル	6	0	11	
	11月12日	ひろしまNPOセンター	5	5	9	
	11月12日	産業振興センター(札幌市)	6	9	3	
	11月19日	麻布台セミナーハウス(東京都)	18	23	36	
	11月19日	大阪・男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)	7	14	6	
	11月26日	松山市民会館	4	2	13	
	12月3日	ABC会議室(名古屋市)	6	4	13	
	12月10日	高岡生涯学習センター ウイング・ウイング高岡	5	3	17	
	1月21日	港区 機械振興会館(東京都)	16	8	51	
	2月4日	沖縄産業支援センター	5	5	11	
	2月18日	博多バスターミナル 第14号室	7	4	14	
	2月25日	PARM-CITY ANNEX多目的ホール(仙台市)	5	6	6	
	2月25日	岡山国際交流センター	7	7	13	
	2月25日	神戸国際会館	8	6	13	
	3月4日	ABC会議室(名古屋市)	6	6	14	
	3月11日	産業振興センター(札幌市)	5	12	2	
	3月18日	麻布台セミナーハウス(東京都)	20	23	37	
	受益対象者延べ人数					761
	アフターミーティング	6月11日	兵庫県西宮市西宮市民会館	2	5	0
6月18日		東京都港区 生涯学習センター ばる〜ん	9	11	6	
10月15日		東京都目黒区 八雲住区センター	11	8	3	
12月10日		スリーエムジャパン(株)大阪支店中之島インテスビル	2	4	3	
2月5日		目黒区東山社会教育館	10	4	6	
受益対象者延べ人数					50	

3. 支援・助言事業

事業内容	実施日時	実施場所・実施内容	従業者数	受益対象者数		
				会員	一般	
ファシリテーションサポート委員会 サポートデスク	5月24日	岩手県花巻市・行政 地域づくり課 研修講師・主催事業におけるファシリテーションに関するアドバイス	5	0	75	
	6月10日	他3回 沖縄県中頭郡・教育委員会 ファシリテーション研修	5	0	42	
	6月18日	千葉県習志野市・日本大学での教員、学生向けファシリテーション研修	2	0	29	
	6月19日	山形県山形市・行政 スポーツ保健課 地域型スポーツクラブマネージャー対象のファシリテーション研修	1	0	20	
	7月21日	他11回 東京都北区・行政 地域振興課 円卓会議ワークショップ	19	0	218	
	7月9日	東京都渋谷区・看護大学でのファシリテーション講座	2	0	40	
	8月12日	他2回 福岡県福岡市、大分県別府市(遠隔)・大学病院医療技術部 ファシリテーション基礎研修	3	0	168	
	8月21日	兵庫県姫路市・姫路市、新聞社タウンミーティング「姫路創成カフェ」の進行	1	0	104	
	9月5日	他6回 愛知県西尾市・工業大学 産学連携中小企業向けワークショップ支援	19	0	162	
	9月6日	宮城県仙台市・教育庁生涯学習課でのファシリテーション研修	1	0	70	
	10月1日	他1回 京都府京都市・社会福祉法人でのファシリテーション基礎研修	6	0	100	
	10月6日	熊本県熊本市・民間企業(出版・イベント企画) 経営セミナー 組織の变革を促すファシリテーション 研修	1	0	50	
	10月26日	埼玉県さいたま市・行政 総務課研修係 課長補佐向けファシリテーション研修	1	0	34	
	11月9日	他1回 福岡県北九州市・病院 ファシリテーション研修	2	0	40	
	11月10日	他3回 京都府宇治市・生涯学習センター市民向けファシリテーション入門	4	0	80	
	11月11日	東京都狛江市・地域包括支援センター ファシリテーション基礎研修	2	0	16	
	11月16日	他1回 東京都中央区・民間企業(人材サービス) ファシリテーション研修	2	0	39	
	11月20日	他1回 沖縄県那覇市・行政 まちづくり協働推進課 市民活動のためのファシリテーション入門講座	3	0	38	
	11月22日	他2回 京都府京都市・NPO法人 人間関係トレーニング	4	0	24	
	11月24日	他2回 福岡県福岡市・行政 総務部企画振興課 意見交換会のファシリテーター	3	0	55	
	11月25日	東京都世田谷区・社会福祉法人 ファシリテーション基礎研修	2	0	8	
	11月26日	愛媛県四国中央市・民間企業(医療用製品製造販売) ファシリテーション基礎研修	2	0	20	
	11月29日	千葉県千葉市・社会福祉協議会 ファシリテーション研修	3	0	40	
	11月30日	東京都世田谷区・大学 ファシリテーション研修	1	0	18	
	1月18日	他1回 東京都板橋区・民間企業(人材サービス) ファシリテーション研修	2	0	55	
	1月27日	大阪府豊中市・行政 会議アドバイザー	2	0	12	
	2月1日	新潟県新潟市・保護観察所 ケア会議の円滑な進行に向けたファシリテーション研修	1	0	20	
	2月3日	神奈川県横浜市・公益財団法人 ファシリテーション研修	2	0	8	
	2月10日	他1回 千葉県千葉市 大学・ファシリテーション講座(基礎編)	4	0	48	
	2月14日	埼玉県さいたま市・行政 総務課研修係 課長向けファシリテーション研修	1	0	32	
	2月18日	大阪府大阪市・建築士会 意見交換会のファシリテーター	2	0	91	
	2月18日	山口県山口市・医療団体 ファシリテーション研修	1	0	20	
	2月25日	北海道札幌市・公益財団法人 ファシリテーション講座	2	0	11	
	2月26日	東京都多摩市・市民活動 多摩市の図書館を考えるワークショップ	7	0	0	
	3月1日	東京都西東京市・公民館 公民館専門員向けファシリテーション講座	1	0	18	
	3月11日	千葉県習志野市・日本大学 教員向けファシリテーション研修	2	0	33	
	災害復興支援グループ	5月14日	東京都港区・NPO法人スクラム釜石5年間の振り返り会議	3	0	11
		5月18日	熊本県嘉島町・鹿島町避難所の班長会議	2	0	12
		6月13日	福島県南相馬市・小高区帰還者生活再建支援検討会	4	1	20
		6月17日	熊本県嘉島町・鹿島町避難所の班長会議	4	0	10
		7月4日	熊本県嘉島町・嘉島町役場と代表者との話し合いの進行	2	0	10
		7月9日	福岡県福岡市・災害復興支援とファシリテーション勉強会(FAJ九州支部)	2	12	15
		7月11日	熊本県嘉島町・嘉島町役場と社協の話し合い進行	2	0	7
		8月4日	熊本県嘉島町・嘉島町企画調整会議	2	0	6
		8月5日	熊本県嘉島町・嘉島町災害対策本部会議	2	0	14
		8月8日	熊本県嘉島町・嘉島町企画調整会議	1	0	6
		8月18日	福島県南相馬市・小高区帰還者生活再建支援検討会	2	0	14
8月19日		熊本県嘉島町・嘉島町企画調整会議	2	0	8	
8月19日		福島県南相馬市・南相馬「あさがお」職員向けファシリテーション研修	2	0	20	
8月20日		岩手県盛岡市・東日本大震災いわて子ども支援センター 保育士向けファシリテーション研修	1	1	20	
8月26日		岩手県盛岡市・東日本大震災いわて子ども支援センター保育士向けファシリテーション研修	2	2	40	
8月26日		熊本県嘉島町・嘉島町企画調整会議	1	0	6	
8月29日		熊本県嘉島町・嘉島町仮設等連携会議	2	0	14	
9月2日		熊本県嘉島町・嘉島町仮設等連携会議の勉強会	1	0	17	
9月4日		沖縄県・沖縄サロン定例会で「報告書」読み語り会	1	10	4	
10月2日		東京都渋谷区・熊本地震での災害復興支援グループの活動紹介	7	18	0	
10月3日		愛知県名古屋市・東日本大震災受入被災者の個別支援のための研修会(愛知県被災者支援センター) 進行支援	3	1	48	
10月5日		山形県山形市・やまがた避難者支援協働ネットワーク県(全体)意見交換会	7	0	71	
10月11日		熊本県嘉島町・嘉島町仮設等連携会議	2	0	13	
10月15・16日		宮城県仙台市・ファシリテーター養成プロジェクト2016年度 ラーニングコミュニティ・ネットワーク<FAN>	3	0	9	

事業内容	実施日時	実施場所・実施内容	従業者数	受益対象者数		
				会員	一般	
災害復興支援グループ	10月17日	愛知県岡崎市・東日本大震災受入被災者の個別支援のための研修会(愛知県被災者支援センター)進行支援	2	1	23	
	10月18日	福島県南相馬市・小高区帰還者生活再建支援検討会	2	1	15	
	10月18日	福島県南相馬市・南相馬役場 市役所職員勉強会	2	1	15	
	11月7日	熊本県嘉島町・嘉島町仮設等連携会議	2	0	11	
	11月26日	福島をいかに海外につなぐかー情報発信者としての役割(広野国際フォーラム)におけるワークショップ進行支援	3	0	60	
	11月22日	熊本地震・避難所支援の課題と解決策への智恵の共有ワークショップ(震災がつなぐ全国ネットワーク主催)進行支援	4	0	42	
	12月7日	熊本県嘉島町・嘉島町仮設等連携会議	3	0	18	
	12月8日	熊本県嘉島町・嘉島町社会福祉協議会、嘉島町役場対象のファミリーテーション講座	3	0	8	
	1月5日	熊本県嘉島町・嘉島町今後の支援について協議会	2	0	4	
	1月8日	兵庫県宝塚市・2017年復興・減災フォーラム(関西学院大学)「地域存亡と災害からの復興～求められる再生への担い手とは～」グラ	4	0	100	
	1月12日	静岡県・静岡県茶の国会議参加	2	0	11	
	1月14日	神奈川県横浜市・福島の今を伝える講演会(かながわ福島応援プロジェクト:Kfop)進行支援	2	0	94	
	1月16日	熊本県嘉島町・嘉島町仮設等連携会議	2	0	17	
	1月21日	宮城県石巻市・石巻市NPO連絡会議運営進行	3	0	40	
	1月21日	熊本県嘉島町・仮設住宅での「みんなの家」活用促進ヒアリング	2	0	16	
	1月28・29日	宮城県仙台市・ファミリーテーター養成プロジェクト2016年度 ラーニングコミュニティ・ネットワーク<FAN>	3	0	5	
	2月8日	熊本県嘉島町・第7回仮設等連携会議	2	0	17	
	2月20日	福島県南相馬市・小高区帰還者生活再建支援検討会	2	1	14	
	3月4・5日	静岡県静岡市・第12回静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練	6	0	595	
	3月8日	熊本県嘉島町・第8回嘉島町仮設等連携会議	3	0	12	
	3月13日	宮城県石巻市・JCN5年間検証プロジェクト宮城県ヒアリング	2	0	9	
	3月17日	熊本県嘉島町・嘉島町支え合いセンターふりかえり会	2	0	4	
	3月23日	熊本県嘉島町・嘉島町支え合いセンター運営会議	3	0	8	
	3月24日	熊本県嘉島町・嘉島町避難所班長の集い運営進行	3	0	9	
	3月28日	福島県福島市・JCN5年間検証プロジェクト福島県ヒアリング	1	0	10	
	3月29日	岩手県遠野市・JCN5年間検証プロジェクト岩手県ヒアリング	2	0	10	
	教育 ファミリーテーション 推進グループ	7月28日	埼玉県比企郡・国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター 社会教育主事向けファミリーテーション研修	2	0	72
		9月3日	2016秋田サロンスペシャル連続企画(第2弾)・「あなたの私の当たり前が覆る習慣から学ぶアクティブラーニング体験」	1	18	7
		10月8日	沖縄サロン第86回例会「『アクティブラーニングを体験する』～学び合うってどういうこと?」	1	7	40
		12月10日	新潟サロン例会・「アクティブラーニングって何?～アクティブラーニングでのファミリーテーションの可能性を探ろう」	1	13	6
3月25日		愛知県名古屋市・「『主体的・対話的で深い学び』を促進する教育ファミリーテーション・ワークショップ」開催	3	5	18	
受益対象者延べ人数					3,684	

4. 交流・親睦事業

事業内容	実施日時	実施場所・実施内容	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
グローバル ファミリーテーション 推進委員会	10月2日	東京都豊島区 日本語学校イベント	1	0	30
	12月3～5日	中国北京市 協力:北京ファミリーテーションの会	1	10	0
	12月17日	東京都北区 北とびあ 定例会「第3回英語deファミリーテーション」	2	東京支部定例会に計上	
	2月25日	東京都品川区 スクエア荏原 定例会「第4回英語deファミリーテーション」	2	東京支部定例会に計上	
	8月6日他5回	WEB会議 災害復興室編纂「わたしたちができること」の英語版作成	12	-	-
受益対象者延べ人数					40
地域イベント	11月5日	愛知県刈谷市 中央生涯学習センター	14	34	25
	11月26日	東京都新宿区 ベルサール西新宿	39	107	53
	1月21日	宮城県仙台市 仙都会館	15	9	22
	2月4日	北海道札幌市 北海道大学 学術交流会館 第一会議室	9	29	29
	2月11日	大阪府大阪市 大阪南港ATC	23	73	102
	2月11日	広島県広島市 合人社ウエンディひと・まちプラザ 研修室A・B・C	11	11	11
受益対象者延べ人数					505
共催・後援等イベント	6月25日～7月10日	東京都渋谷区 協力:株式会社フューチャーセッションズ(フューチャーセッション・ウィーク2016)	不特定多数		
	7月30日～31日	東京都目黒区 協力:NPO法人 OD Network Japan(2016年次大)	不特定多数		
	10月17日	東京都新宿区 共催:IAF Japan(ワールドカフェ・アジアPart2)	6	23	23
	12月3日～5日	中国北京市 協力:北京ファミリーテーションの会	不特定多数		
	2月4日	佐賀県佐賀市 主催:佐賀サロン(協力:九州支部運営委員会)	2	11	94
受益対象者延べ人数					151以上

5. その他の総合的な事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
ニュースレター	年4回	東京都渋谷区 FAJ東京事務所、他全国			
ウェブサイト	随時	東京都渋谷区 FAJ東京事務所、他全国		不特定多数	
メーリングリスト SNS	随時	東京都渋谷区 FAJ東京事務所、他全国			

6. 理事会

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
通常総会	5月29日	愛知県名古屋市 名古屋国際会議場2号館234会議室	154	-	-
理事会	4月10日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	17	-	-
	5月15日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	17	-	-
	7月3日	千葉県習志野市 幕張セミナーハウス	11	-	-
	7月31日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所 各地区オンライン	13	-	-
	8月27日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	13	-	-
	9月24日	各地区オンライン	8	-	-
	10月9日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	12	-	-
	11月5日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	14	-	-
	12月11日	大阪府吹田市 キューホー江坂	12	-	-
	1月28日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	12	-	-
	1月29日	(拡大理事会)東京都港区 港区立生涯学習センター	23	-	-
	2月26日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	14	-	-
	3月19日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	13	-	-

II その他の事業

実施しなかった。

ご寄附、ありがとうございました

会計収支報告書にもごぞいます通り、H28年度も災害復興支援活動に対して、多くの方から寄附金をお預かりしました。この場をお借りして、御礼申し上げます。

また寄附金は災害復興支援活動に充当させていただいたことをご報告します。

ご寄附いただいた方々(日付順)

東京支部定例会参加者有志(4月)、ミステリーツアー参加者有志の皆様(6月)、北海道支部運営委員有志(10月)

平成28年度「特定非営利活動に係る事業」会計収支報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科 目	金額（単位：円）		
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入金収入			
個人会費	16,165,000		
法人会費	200,000	16,365,000	
2 事業収入			
調査・研究事業収入	1,347,500		
教育・普及事業収入	14,914,300		
支援・助言事業収入	5,746,261		
交流・親睦事業収入	2,171,135	24,179,196	
3 寄付金収入			
個人寄付金	30,482		
法人寄付金	0	30,482	
4 助成金	1,647,736	1,647,736	
経常収入合計			42,222,414
II 経常支出の部			
1 事業費			
調査・研究事業費	6,309,178		
教育・普及事業費	11,273,726		
支援・助言事業費	8,005,825		
交流・親睦事業費	2,337,611	27,926,340	
2 管理費			
広報費	173,140		
交通宿泊費	4,649,305		
謝礼等	0		
会議費	304,366		
事務消耗品費	170,365		
通信運搬費	53,484		
諸会費	45,000		
雑費	508,021		
資料印刷費	1,426,984		
総会関係費用	515,911		
外部委託料	2,693,134		
支払手数料	477,090		
賃借料	901,266		
租税公課	70,600	11,988,666	
経常支出合計			39,915,006
経常収支差額			2,307,408
III その他資金収入の部			
その他資金収入合計	382,673	382,673	382,673
IV その他資金支出の部			
その他資金支出合計			0
当期収支差額			2,690,081
前期繰越収支差額			26,668,261
次期繰越収支差額			29,358,342

科目	予算	H28年度計	予算差異	予算比	決算内訳											
					事務局	北海道	東京	中部	関西	中国	九州	東北	サロン	シンポジウム	ファンサポ	セミナー
(資金収支の部)																
I 経常収入の部																
1 会費・入会金収入																
個人会費	16,000,000	16,040,000	▲ 40,000	100.25%	16,040,000											
個人会費[学生]	0	125,000	▲ 125,000	—	125,000											
法人会費	200,000	200,000	0	100.00%	200,000											
	16,200,000	16,365,000		101.02%												
2 事業収入																
調査・研究事業収入	1,175,000	1,347,500	▲ 172,500	114.68%												
教育・普及事業収入	13,600,000	14,914,300	▲ 1,314,300	109.66%				34,000	24,000	21,000	12,500	81,000	1,175,000		14,914,300	
支援・助言事業収入	3,250,000	5,746,261	▲ 2,496,261	176.81%										5,746,261		
交流・親睦事業収入	3,522,000	2,171,135	1,350,865	61.64%												
	21,547,000	24,179,196		112.22%		276,500	815,000	148,635	741,500	63,500		126,000				
3 寄付金収入																
個人寄付金	10,000	30,482	▲ 20,482	304.82%	30,482											
法人寄付金	0	0	0	—												
	10,000	30,482		304.82%												
4 助成金等収入																
民間助成金	0	1,647,736	▲ 1,647,736	—										1,647,736		
	0	1,647,736														
当期収入合計	37,747,000	42,222,414	▲ 4,475,414	111.86%	16,395,482	276,500	815,000	182,635	765,500	84,500	12,500	207,000	0	1,175,000	7,393,997	14,914,300
II 経常支出の部																
1 事業費																
調査・研究事業費																
会場使用料	3,676,000	3,522,672	153,328	95.83%		北海道	東京	中部	関西	中国	九州	東北	サロン	シンポジウム	プロジェクト	実践PJ
事務消耗品費	435,000	530,135	▲ 95,135	121.87%		150,180	1,257,862	240,900	379,892	138,280	57,600	106,750	43,510	1,147,698	0	0
交通宿泊費	1,935,000	1,121,450	813,550	57.96%		13,364	149,071	16,673	113,136	9,955	50,608	102,054	5,166	70,108	0	0
謝礼等	851,000	603,207	247,793	70.88%		108,466	89,420	142,560	200,760	83,880	102,660	50,186	307,178	36,340	0	0
印刷費	155,000	117,548	37,452	75.84%		55,685	100,000	172,507	111,371	30,000		22,274		111,370	0	0
会議費	472,000	238,750	233,250	50.58%		5,964	46,667	4,940	29,161	925	10,202	10,045		9,644	0	0
雑費	167,000	149,266	17,734	89.38%		11,488	111,530	4,820	84,150	4,440	7,600	11,180		3,542	0	0
研究開発費	180,000	26,150	153,850	14.53%		0	1,640	22,703	25,776	4,050	2,841	8,720		83,536	0	0
	7,871,000	6,309,178	1,561,822	80.16%		0	0	0	0	0	0	0		0	26,150	0
教育・普及事業費																
会場使用料	1,970,000	2,119,453	▲ 149,453	107.59%		345,147	1,756,190	605,103	944,246	271,530	231,511	311,209	355,854	1,462,238	26,150	0
事務消耗品費	150,000	218,004	▲ 68,004	145.34%												セミナー
交通宿泊費	2,850,000	3,371,605	▲ 521,605	118.30%												2,119,453
謝礼等	4,340,000	4,581,832	▲ 241,832	105.57%												218,004
印刷費	600,000	537,068	62,932	89.51%												3,371,605
会議費	310,000	284,675	25,325	91.83%												4,581,832
雑費	100,000	161,089	▲ 61,089	161.09%												537,068
	10,320,000	11,273,726	▲ 953,726	109.24%												284,675
支援・助言事業費																
会場使用料	460,000	56,200	403,800	12.22%												ファンサポ
事務消耗品費	40,000	8,810	31,190	22.03%												56,200
交通宿泊費	2,830,000	4,488,147	▲ 1,658,147	158.59%												8,810
謝礼等	1,325,000	3,175,762	▲ 1,850,762	239.68%												4,488,147
印刷費	45,000	19,315	25,685	42.92%												3,175,762
会議費	40,000	12,320	27,680	30.80%												19,315
雑費	140,000	245,271	▲ 105,271	175.19%												12,320
	4,880,000	8,005,825	▲ 3,125,825	164.05%												245,271
交流・親睦事業費																
会場使用料	1,532,000	1,245,152	286,848	81.28%		北海道	東京	中部	関西	中国	九州	東北				8,005,825
事務消耗品費	220,000	101,140	118,860	45.97%		59,400	681,480	40,100	297,972	36,600	0	129,600				GFPC
交通宿泊費	645,000	270,190	374,810	41.89%		18,305	34,190	12,468	30,326	2,859	0	2,992				0
謝礼等	622,000	182,274	439,726	29.30%		15,070	29,640	14,500	96,030	33,600	0	81,350				0
印刷費	225,000	95,244	129,756	42.33%		22,274	0	50,000	60,000		0	0			50,000	0
会議費	164,000	92,850	71,150	56.62%		27,651	35,146	1,445	18,468	11,634	0	900				0
雑費	192,000	335,761	▲ 143,761	174.88%			56,600	11,550	5,500		0	19,200				0
外部委託料	250,000	15,000	235,000	6.00%		81,961	175,473	870	57,957	19,500	0	0				0
	3,850,000	2,337,611	1,512,389	60.72%		224,661	1,012,529	130,933	581,253	104,193	0	234,042			50,000	0
事業予備費	2,000,000	0	2,000,000	0.00%												
事業費計	28,921,000	27,926,340	994,660	96.56%		569,808	2,768,719	736,036	1,525,499	375,723	231,511	545,251	355,854	1,462,238	8,081,975	11,273,726
2 管理費																
登録料等						事務局	WEB	NL	詳細							
広報費	378,000	173,140	204,860	45.80%	55,258	117,882			パンフ改訂・印刷、プレスリリース、サーバー維持管理他							
交通宿泊費	4,550,000	4,649,305	▲ 99,305	102.18%	4,226,257	167,898	255,150		理事会(11回、総会説明等)、拡大理事会(2回)、事務局(総会)、専門委員会							
謝礼等	20,000	0	20,000	0.00%			0									
会議費	205,000	304,366	▲ 99,366	148.47%	301,266	1,550	1,550		役員合宿、全国運営スタッフ会議他							
事務消耗品費	50,000	170,365	▲ 120,365	340.73%	170,149		216		名刺代、事務用品、プロジェクト買替(2台)10万、全国運営スタッフ会議							
通信運搬費	28,000	53,484	▲ 25,484	191.01%	52,974		510		郵便、電話							
諸会費	40,000	45,000	▲ 5,000	112.50%	45,000				シーズ3万、日本NPOセンター1万、ひろしまNPOセンター0.5万							
雑費	730,000	508,021	221,979	69.59%	90		507,931		NL発送経費他							
資料印刷費	1,228,000	1,426,984	▲ 198,984	116.20%	0		1,426,984		封筒、NL印刷							
総会関係費用	650,000	515,911	134,089	79.37%	515,911				会場費・備品・資料代・通信費							
外部委託料	2,792,000	2,693,134	98,866	96.46%	1,363,438	1,329,696			事務(12月)、会計税務(12月)、決算、法務、決済サービス利用87.3万、HP構築他							
支払手数料	550,000	477,090	72,910	86.74%	477,090				振込手数料23万、EB使用料5万、BIZ手数料(12月)、会費払込手数料19万							
賃貸料	965,000	901,266	307,910	93.40%	901,266				家賃64.8万、倉庫(中部、関西)							
租税公課	300,000	70,600	98,866	23.53%	70,600				法人税均等割7万、消費税なし、収入印紙							
管理費計	12,486,000	11,988,666	229,400	96.02%	8,179,299	1,617,026	2,192,341									
当期支出合計	41,407,000	39,915,006	1,491,994	96.40%												
III その他資金収入の部																
その他資金収入合計		382,673	▲ 382,673			amazonアフィリエイト17,925、税還付金364,491										
その他資金支出合計																
当期収支差額	▲ 3,660,000	2,690,081	▲ 6,350,081	-73.5%												

平成28年度「特定非営利活動に係る事業」会計貸借対照表

平成29年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科目・摘要	金額 (単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	0		
普通預金 三菱東京UFJ銀行(経費)	3,862,627		
普通預金 三菱東京UFJ銀行(継続会費)	56,126		
普通預金 三菱東京UFJ銀行(新規会費)	614,388		
普通預金 三井住友銀行	5,716,591		
普通預金 三井住友銀行	4,631,590		
普通預金 三井住友銀行	6,619,114		
普通預金 三井住友銀行	3,068,526		
当座預金 ゆうちょ銀行	11,016,454		
棚卸資産	0		
前渡金	648,828		
前払費用	0		
未収入金	687,941		
流動資産合計		36,922,185	
2 固定資産			
固定資産合計	0		
減価償却累計額	0		0
3 投資その他の資産			
差入保証金	29,580		
投資その他の資産合計		29,580	
資産合計			36,951,765
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	4,862,057		
前受金	2,346,264		
仮受金	0		
預り金	385,102		
流動負債合計		7,593,423	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			7,593,423
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		26,668,261	
当期正味財産増加額		2,690,081	
正味財産合計			29,358,342
負債及び正味財産合計			36,951,765

平成28年度「その他の事業」会計収支報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科 目	金額 (単位:円)		
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入会金収入			
個人会費	0		
法人会費	0	0	
2 事業収入			
物品の斡旋及び販売	0		
役務の提供	0	0	
3 寄付金収入			
個人寄付金	0		
法人寄付金	0	0	
経常収入合計			0
II 経常支出の部			
1 事業費			
物品の斡旋及び販売	0		
役務の提供	0	0	
2 管理費			
管理料等	0		
交通費	0		
事務消耗品	0		
通信費	0	0	
経常支出合計			0
経常収支差額			0
III その他資金収入の部			
その他資金収入合計			0
IV その他資金支出の部			
その他資金支出合計			0
当期収支差額			0
前期繰越収支差額			0
次期繰越収支差額			0

平成28年度「その他の事業」会計貸借対照表

平成29年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科目・摘要	金額（単位：円）		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	0		
普通預金	0		
流動資産合計		0	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			0
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		0	
当期正味財産増加額		0	
正味財産合計			0
負債及び正味財産合計			0

平成28年度会計財産目録

平成29年3月31日現在

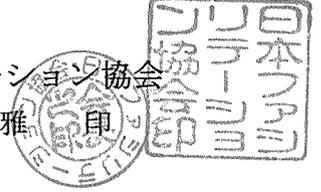
特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科目・摘要	金額（単位:円）	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金 現金手許有高	0	
普通預金 三菱東京UFJ銀行西新宿支店	3,862,627	
普通預金 三菱東京UFJ銀行西新宿支店	56,126	
普通預金 三菱東京UFJ銀行西新宿支店	614,388	
普通預金 三井住友銀行渋谷支店	5,716,591	
普通預金 三井住友銀行渋谷支店	4,631,590	
普通預金 三井住友銀行渋谷支店	6,619,114	
普通預金 三井住友銀行渋谷支店	3,068,526	
当座預金 ゆうちょ銀行〇一九店	11,016,454	
棚卸資産	0	
前渡金 平成29年度会場代	648,828	
前払費用	0	
未収入金	687,941	
流動資産合計		36,922,185
	0	
2 固定資産		
固定資産	0	
固定資産合計		0
3 投資その他の資産		
差入保証金 レンタルスペース	29,580	
資産合計		29,580
		<u>36,951,765</u>
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	4,862,057	
前受金 平成29年度会費他	2,346,264	
預り金 講師謝礼源泉所得税	385,102	
流動負債合計		7,593,423
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		<u>7,593,423</u>
正味財産		<u>29,358,342</u>

平成 28 年度の事業報告書ならびに貸借対照表、活動計算書、財産目録を提出いたします。

平成 29 年 4 月 16 日

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会
会 長 平 井 雅



監査報告書

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会
会 長 平 井 雅 殿

特定非営利活動促進法第 18 条の規定に基づき、平成 28 年度（平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）の特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会の業務および財産の状況について監査を実施いたしました。

業務については月次の理事会に出席したほか、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討しました。また財産の状況については証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保障を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務の執行に関しては法令及び定款に違反する重大な事実はなく、平成 28 年度の特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会の財産の状況は適正なものと認められます。

平成 29 年 4 月 16 日

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

監 事

池田 隆年 印

監 事

長橋 良智 印

平成29年度事業計画書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

事業計画のポイント

平成29年度のFAJは、「ファシリテーションのインパクトを現場に届ける」をキーワードとして以下の2点を重点的に取り組みます。

- ・「〇〇 × ファシリテーションの掛け合わせ」と「越えてつなげる」によって生み出されるファシリテーションのインパクトを、求められる現場に着実に届けられるよう、FAJ内外の活動を強化します。
 - ・ 自律・分散・協働型のネットワーク組織を体現するための変革を、臨機応変に着実に進めます。
-

日本ファシリテーション協会(FAJ)は、ファシリテーションの普及を通して自律・分散・協働型の社会を目指すNPOです。多くの会員が、FAJの活動の中でファシリテーションを学び、ビジネスや行政、地域コミュニティ、教育、医療、福祉など多様な分野で活用し、それぞれの現場で課題に立ち向かって試行錯誤しています。日本各地で活用事例が増え、ファシリテーションの認知度が高まっている中で、FAJとしてあらためてファシリテーションが社会や組織にもたらすインパクトをしっかりと評価し、組織内外にアピールしていく必要が増えています。

私たちは、それぞれがボランティアで自分の時間とお金とノウハウというリソースを投入してFAJ活動を行っています。これにより、個人としては大きな学びと仲間を得ることができ、組織としてはFAJ内にノウハウが蓄積して全国的ネットワークが築かれています。さらに、FAJ外の現場でも、ファシリテーションを用いた課題解決や変革に貢献しようとしています。つまり、会員ひとりひとりの活動が、個人にも、組織にも、社会にもインパクトを与えることができる—それが私たちFAJの強みだと言えます。

だからこそ今、それぞれの地域拠点や委員会などにおいて、「そもそもファシリテーションの成果とは何か」「現場とは誰にとってのどんな場なのか」「どのような状態になったら“届けた”と言えるのか」など私たちのFAJ活動の意義と成果を見つめ直すことで、活動の質を高めていく必要があります。

私たち会員の日々の取り組みは、「バタフライ効果の蝶」の羽ばたきのように、最初は小さくとも結果的に大きなインパクトをもたらすことができる—そんな気概を持って今年度も活動を続けていきましょう！

■ファシリテーションのインパクトを現場に届けられるよう、FAJ内外に向けた活動を強化

平成27年度のFAJでは「各分野×ファシリテーション」の掛け合わせをテーマに分野ごとの実践的なファシリテーションに焦点をあてました。平成28年度は「越えてつなげる」をテーマに、FAJならではの多様性と広域性を活かしながら分野や地域、組織、会員/非会員など様々な境界を越えて交流と実践の輪を広げることにチャレンジしてきました。今年度は、この「掛け合わせ」と「越えてつなげる」を引き続き推し進めながら、そこで生み出されるファシリテーションのインパクト—つまりファシリテーションがもたらす有形・無形、短期的・中長期的な成果—をさらに現場に届けることに重点を置いて活動を展開します。このため、会員の相互研鑽はもちろん、会員外の実践者との交流を深めるとともに、広報を強化することで、ファシリテーションの有用性や社会に与えるインパクトを組織内外にアピールしていきます。

■自律・分散・協働型のネットワーク組織を体現するための変革を臨機応変に着実に

私たちFAJのチャレンジは、FAJ自体がネットワーク組織のプロトタイプとなることで、自律・分散・協働のあり方を体現することです。私たちはそのための変革に取り組む必要があります。例えば、昨年度端緒についたテーマ型サロンや、定例会への非会員参加など、組織内外のシナジーをおこす組織のあり方と試みを、検証を加えながら今年度もさらに進めていきます。また、ファシリテーションのインパクトを組織内外に効果的・持続的に届けられるよう、組織運営の力を一層高める取り組みを続けます。

以下、重点的に取り組む内容を事業別に記します(括弧内は担当組織を表します)。

1 ファシリテーション技術の確立や新しい技術の開発を目指す調査・研究事業

調査・研究事業では、FAJ 内外の連携を深め、実践力の相互研鑽の場をつくっていきます。

1) 実践力の相互研鑽の場作りの推進(各支部運営委員会、プロジェクト)

- 定例会や例会、プロジェクトにおいては、地域やテーマの特性に合わせた主体的な運営を行いながら、「ファシリテーションのインパクトを現場に届ける」ことを意識した会員相互の研鑽の場を創ります。またそのために、FAJ 内外のファシリテーターと協働して探求する場を設けます。
- 各支部・サロンの活動から生まれた運営コンセプトやプログラムなどの知見を、拠点の枠を越えて共有し、活用するための場を創ります。

2) ファシリテーションの本質を研究(理事会、シンポジウム実行委員会)

- ファシリテーションの知見を共有し深める「研究発表」、及び自分のファシリテーションの持ち味を知って成長の手がかりとするための「F力測定」の2つをメイン・プログラムとした、ファシリテーション・シンポジウムを継続開催します。
- 過去5回と今年度のシンポジウムの取り組みをふりかえり、ファシリテーションの本質の研究の場としてのシンポジウムのあり方を総括し、次年度以降の取り組みの方針を検討します。

2 ファシリテーター養成や実践方法の普及を目指す教育・普及事業

教育・普及事業では、前年度に引きつづき、これまで提供してきた公開セミナーを継続強化するとともに、公開セミナーの新たな事業展開を推進します。

1) 従来の公開セミナーの継続強化(公開セミナー委員会)

- ファシリテーションの普及のため全国各地で公開セミナーを引き続き開催します。
- 今後も質の高いセミナーを継続的に開催できるよう、引き続き講師の増強、レベルアップを推進するとともに、セミナーコンテンツを継続的に改良します。
- セミナー委員会の開催を核とし、新たな事業展開や将来の方向性を検討します。又、アソシエイツと一体となり、セミナー運営の効率化・集約化をさらにはかっていきます。

2) 公開セミナーの新たな展開の検討(理事会・公開セミナー委員会)

- 平成28年度に作成したパイロット版を元にセミナー委員会内で実践編トライアルチームを結成し、会員を対象に試行し、事業化につなげます。

3 各種団体におけるファシリテーションの活用をサポートする支援・助言事業

社会課題の解決や新しい社会の創造に関わる様々な個人・団体の要請に対して、ファシリテーションの活用を支援します。

1) 継続的な活動を支える基盤の整備(ファシリテーションサポート委員会)

- 平成28年度の活動実績から見えた相談者・依頼者の多様なニーズに対応できる、より安定的・効果的な運営プロセスと仕組みを作ります。
- 会員に対し、支援活動への理解を促すとともに、ファシリテーターとして協力を依頼できる会員を増やします。

2) 社会からの多様な要請に対する支援(ファシリテーションサポート委員会)

- 依頼者・相談者からの多様な要請に対して、抱えている課題やニーズを丁寧に把握しながら、より良いコーディネートを含む支援の実践を目指します。
- これまでの災害復興支援活動において関係を育んできた団体を中心に、被災地それぞれの復興フェーズに合わせた支援を行います。FAJ 内外において、被災地の復興をファシリテーションで支援する人材発掘を行う

とともに、災害復興・防災ファシリテーションの啓発を行います。

- 教育分野については、外部からの要請に対する支援を行いつつ、活動の方向性を再検討します。

4 ファシリテーターや関連団体間の親睦を図る交流・親睦事業

交流・親睦事業では各種イベントや関連団体との交流を通じて、FAJの内外のつながりをさらに深めます。

- 1) 地域イベントを開催(各支部運営委員会、地域イベント実行委員会)
 - FAJ内外とのつながりを深め広げるために、北海道・東北・東京・中部・関西・中国・九州各支部で“ファシリテーションのインパクトを現場に届ける”などを意識した地域イベントを開催します。
- 2) 国境や文化・言語を越えてつなげる活動強化(理事会、グローバルファシリテーション推進委員会)
 - ファシリテーションのグローバル組織であるIAF及びIAF-Japanとの連携を一層深め、グローバルにおけるファシリテーションの知見とスキルの共有・相互活用を促進します。
 - 災害復興支援室活動報告「ファシリテーション わたしたちにできること」の英訳を進め、HPで公開し、国内外に情報提供します。
 - 在住外国人の方や、日本語以外を母語とする方へのファシリテーションの提供を行うなど交流を促進します。
- 3) 他団体との連携強化(理事会、各支部運営委員会、本部事務局)
 - 引き続き、各分野で活動している外部団体とファシリテーションを軸にコラボレーションを進めます。また、FAJ外部のファシリテーターとの連携を深めます。

5 広報・コミュニケーション活動

“ファシリテーションのインパクトを現場に届ける”ため、広報機能を強化します。FAJが保有する知見や情報、会員の実践事例を様々な方法で外部に発信します。また、会員相互のネットワークを促進するコミュニケーションの充実を図ります。

- 1) 広報・コミュニケーション機能の強化と体制の検討(理事会、ウェブ編集委員会、ニューズレター委員会、事務局)
 - 広報内容や広報媒体・方法のありたい姿を具体化し、“ファシリテーションのインパクトを現場に届ける”ための強化を実施します。また、これを実現するための役割の再定義や分担、負荷の低減など実行体制についても見直します。
- 2) ウェブサイト・リニューアルの継続(理事会、ウェブ編集委員会、各拠点)
 - 昨年度のリニューアル作業に引き続き、FAJ外への発信コンテンツを拡充します。また、各拠点と連携しながら各拠点ウェブサイトの利便性の改善を図ります。
 - 2年間実施したオープンFAJの試みを評価し、FAJや会員の実践事例を恒常的に発信できるよう検討します。
- 3) ファシリテーションの実践に役立つ情報の提供(ニューズレター委員会)
 - FAJ内外の団体や分野への取材を積極的に行い、会員同士や会員と非会員間の交流を深めるよう、情報の提供に努めます。
 - 会員に有益なコンテンツを届けるニューズレターの発行を継続するため、編集指針や運営のあり方を検討します。

6 ミッション及び組織運営に関わる活動

各拠点が主体的にいきいきと取り組みながらファシリテーションのインパクトを社会に届け続けられるよう、自律的につながるネットワーク型の組織運営をめざすと共に、会員一人ひとりがミッション及びビジョン 3.0の実現に向けて取り組みやすい環境を引き続きつくりまします。

- 1) 最適な運営方法の検討(理事会・各拠点・本部事務局)
 - 各拠点の運営スタッフ(委員・アソシエイツ)がよりよい運営方法について検討するため、横断的な話し合いの

機会を設けます。(例:運営課題ごとのオンライン会議等)

- 社会的インパクトを届ける組織の財政構造を研究し、中期的な財政基盤について検討します。

2) 各種制度改正への対応(理事会、本部事務局)

- 協会としての活動を維持・向上させるために、NPO 法人に関連する各種の制度改正への対応を行います。

FAJ ビジョン 3.0

タテ型社会の常識からヨコ型社会の知恵へ (社会の視点・ファシリテーションの視点)

- ① 社会を構成する多くの人が、**対話と議論の手法や知恵**を自ら学び活用し、協働している。
- ② ファシリテーションが、あらゆる地域・分野の現場で、その存在を知られ、社会全体が、上意下達のタテ型社会の常識から、多様な考えやあり方を認め合いともに歩む**ヨコ型社会**を目指して変革をはじめている。

強い意志を持ったイノベーターのネットワークへ (ファシリテーターの視点・FAJの視点)

- ③ 社会や組織の課題を解決したいと願う挑戦的な**イノベーター**が、ファシリテーションによって現場で変革を起こしている。
- ④ 自覚と責任あるファシリテーターの**ネットワーク型組織**が、臨機応変にその実践とイノベーションを支えている。

ビジョンを実現するためのFAJの行動

- ① 社会を構成する多くの人が、対話と議論の手法や知恵を自ら学び活用し、協働している。
 - FAJは、個々の思いを機敏に具現化して、着実にイノベーションへとつなげる集合知を創生する。
 - FAJは、課題解決や変革を必要としている組織・コミュニティにファシリテーションのスキルとマインドを届ける。
- ② ファシリテーションが、あらゆる地域・分野の現場で、その存在を知られ、社会全体が、上意下達のタテ型社会の常識から、多様な考えやあり方を認め合い、ともに歩むヨコ型社会を目指して変革をはじめている。
 - FAJは、社会に深く根を張る上意下達型・ヒエラルキー型の思考様式と行動様式を打ち破り、多様な人々が自律的につながるネットワーク型組織の成功事例を、身をもって実現する。
 - ファシリテーションが生んだ成功事例を集め、その有用性や応用可能性、社会に与えるインパクトをアピールする。
- ③ 組織や社会の課題を解決したいと願う挑戦的なイノベーターが、ファシリテーションによって現場で変革を起こしている。
 - FAJに集まる野心的なファシリテーターが、国際的紛争や新しい分野など、それぞれの現場に向き合って耕し、その課題解決に挑戦し、成果を上げている。
 - FAJに集まるファシリテーターが、ヨコ型社会における新しいリーダーシップに挑戦している。
- ④ 自覚と責任あるファシリテーターのネットワーク型組織が、臨機応変にその実践とイノベーションを支えている。
 - FAJは、地域や特定分野での実践的な活動を支援する拠点やプロジェクトを臨機応変に立ち上げ、自覚と責任を持って変革を進める人々を輩出し、それらの場をつなぐネットワークのハブとなる。
 - FAJは、ファシリテーションに関する知識と経験を深めるため、研究と試行を重ね、地域や分野、世代を超えて実践者が刺激し合う相互研鑽の場となる。

ミッション

ファシリテーションの普及を通じて、ビジネス分野においては、生産性・モチベーション・リーダーシップ力を向上させ、社会的な分野では、市民活動・地域経営・国際交流の質を高め、教育の分野では、多面的な視点を持つ人材を育成していくことをめざしています。

ビギナーからプロフェッショナルまで、ビジネス・まちづくり・NPO・教育・環境・医療・福祉など、多彩な分野で活躍するファシリテーターが集まり、多様な人々が協働しあう自律分散型社会の発展をめざして、幅広い活動を展開していきます。

以下、計画の詳細について記載します。

【A】特定非営利活動にかかる事業

1. 調査・研究事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
ファシリテーション・シンポジウム	5月27日 5月28日	福岡	43名	会員350名
北海道支部 定例会	通年 (11回)	北海道	55名 (5名×11回)	会員275名、一般33名 (会員25名＋一般3名)×11回
東北支部 例会	通年 (11回)	宮城	33名 (3名×11回)	会員110名、一般66名 (会員10名＋一般6名)×11回
東京支部 定例会	通年 (11回)	東京・神奈川・千葉・埼玉・群馬等	330名 (30名×11回)	会員1210名、一般110名 (会員110名＋一般10名)×11回
中部支部 定例会	通年 (11回)	愛知	66名 (6名×11回)	会員440名、一般77名 (会員40名＋一般7名)×11回
関西支部 定例会	通年 (11回)	大阪・京都・兵庫	88名 (8名×11回)	会員605名、一般66名 (会員55名＋一般6名)×11回
中国支部 定例会	通年 (11回)	広島	33名 (3名×11回)	会員132名、一般33名 (会員12名＋一般3名)×11回
九州支部 定例会	通年 (11回)	福岡	33名 (3名×11回)	会員330名、一般55名 (会員30名＋一般5名)×11回
地域行政×ファシリテーションプロジェクト	—	—	—	—
サロンサポート	—	地域型11カ所 テーマ型3カ所	—	—

2. 教育・普及事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
公開セミナー	通年 (40クラス)	東京・大阪・愛知・広島・福岡等	200名 (5名×40クラス)	会員320名、一般480名 (会員8名＋一般12名)×40クラス
事業検討	未定	—	—	—

3. 支援・助言事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
ファシリテーション サポート委員会	通年 (18回)	全国	54名 (3名×18回)	一般540名 (一般30名×18回)
サポートデスク				
災害復興支援 グループ	通年 随時	全国	-	-
教育ファシリテ ーション推進 グループ	通年 (10回)	全国	30名 (3名×10回)	会員50名、一般250名 (会員5名+一般25名)×10回

4. 交流・親睦事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
グローバル ファシリテーション 推進委員会	10月	東京他	20名	不特定多数
地域イベント	4月	東京	3名	会員5名、一般15名
	11月	愛知	10名	会員80名、一般20名
	12月	福岡	10名	会員80名、一般20名
	未定	福山	-	-
	未定	東京	-	-
	未定	札幌	-	-
	未定	仙台	-	-
未定	大阪	-	-	

5. その他の総合的な事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
ニューズレター	4回	全国	32名 (8名×4回)	会員1,700名
ウェブサイト	通年	全国	20名	不特定多数
メールングリスト等	通年	全国	20名	会員1,700名

【B】その他の事業

実施しません。

平成29年度「特定非営利活動に係る事業」活動予算書

単位＝円

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファンリテーション協会

科目	H29年度予算	予算内訳												
		事務局	北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	サロン	プロジェクト	シンポジウム	公開セミナー	ファンサポ
I 収入の部														
1 会費収入														
個人会費収入	17,000,000	17,000,000												
法人会費収入	200,000	200,000												
	17,200,000													
2 事業収入														
調査・研究事業収入	1,505,000		150,000	60,000	100,000	50,000	36,000				1,109,000	0	0	
教育・普及事業収入	13,600,000										0	13,600,000	0	
支援・助言事業収入	4,650,000										0	0	4,650,000	
交流・親睦事業収入	3,369,000		325,000	238,000	1,300,000	190,000	750,000	275,000	291,000		0	0	0	
	23,124,000													
3 寄付金収入														
個人寄付金	10,000	10,000												
法人寄付金	0	0												
	10,000													
4 助成金等収入														
民間助成金	650,000	0											650,000	
	650,000													
収入合計	40,984,000	17,210,000	325,000	388,000	1,360,000	290,000	800,000	311,000	291,000	0	0	1,109,000	13,600,000	5,300,000
II 支出の部														
1 事業費														
調査・研究事業支出			北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	サロン	プロジェクト	シンポジウム		
会場使用料	3,417,000		162,000	172,000	1,290,000	260,000	500,000	165,000	190,000	140,000	0	538,000		
事務消耗品費	401,000		20,000	40,000	160,000	20,000	65,000	11,000	36,000	14,000	0	35,000		
交通宿泊費	2,360,000		260,000	280,000	180,000	200,000	275,000	170,000	180,000	615,000	0	200,000		
謝礼等	942,000		56,000	56,000	200,000	220,000	200,000	10,000	50,000	会場使用料(各1万)、事務消耗品費(各0.1万)	0	150,000		
印刷費	308,200		10,000	36,000	45,000	12,000	30,000	11,000	14,200	0.1万)交通宿泊費(各3万、沖4.5万、テーマ型各9万)	0	150,000		
会議費	486,000		10,000	40,000	210,000	28,000	100,000	60,000	18,000	0	0	20,000		
雑費	455,800		0	14,000	90,000	0	30,000	5,000	1,800	0	0	315,000		
外部委託料	127,000		0	0	50,000	0	0	0	0	0	各3万円	77,000		
研究開発費	180,000		0	0	0	0	0	0	0	0	180,000	0		
	8,677,000		518,000	638,000	2,225,000	740,000	1,200,000	432,000	490,000	769,000	180,000	1,485,000		
教育・普及事業支出													公開セミナー	
会場使用料	1,970,000												1,970,000	
事務消耗品費	150,000												150,000	
交通宿泊費	3,600,000												3,600,000	
謝礼等	4,340,000												4,340,000	
印刷費	600,000												600,000	
会議費	310,000												310,000	
雑費	250,000												250,000	
研究開発費	0												0	
	11,220,000												11,220,000	
支援・助言事業支出														ファンサポ
会場使用料	30,000													30,000
事務消耗品費	10,000													10,000
交通宿泊費	3,430,000													3,430,000
謝礼等	2,829,000													2,829,000
印刷費	20,000													20,000
会議費	15,000													15,000
雑費	45,000													45,000
	6,379,000													6,379,000
交流・親睦事業支出		北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州					GFPC	
会場使用料	1,432,000	70,000	102,000	700,000	50,000	350,000	60,000	100,000					0	
事務消耗品費	186,000	14,000	10,000	62,000	10,000	35,000	30,000	25,000					0	
交通宿泊費	670,000	65,000	40,000	50,000	30,000	145,000	40,000	100,000					200,000	
謝礼等	512,000	56,000	56,000	100,000	50,000	100,000	50,000	50,000					50,000	
印刷費	193,000	30,000	10,000	58,000	10,000	40,000	35,000	10,000					0	
会議費	159,000	5,000	15,000	100,000	10,000	20,000	5,000	4,000					0	
雑費	187,000	75,000	5,000	20,000	10,000	60,000	15,000	2,000					0	
外部委託料	630,000	10,000	0	210,000	20,000	0	40,000	0					350,000	
	3,969,000	325,000	238,000	1,300,000	190,000	750,000	275,000	291,000					600,000	
事業予備費	1,000,000	1,000,000												
事業費計	31,245,000	1,000,000	843,000	876,000	3,525,000	930,000	1,950,000	707,000	781,000	769,000	180,000	1,485,000	11,820,000	6,379,000
2 管理費		事務局	WEB	NL	広報PJ	詳細								
広報費	570,000	300,000	270,000	0	0	パンフ改訂・印刷20万、プレスリリース10万、MLサーバ容量増設、新ウェブサイトサーバ管理費用								
交通宿泊費	4,320,000	2,900,000	400,000	620,000	400,000	理事会30万×7回 拡大理事会40万×2回 広報強化MTG 40万 他各種委員会								
謝礼等	0	0	0	0	0	0								
会議費	413,000	350,000	45,000	18,000	0	0 会議費予備(役員合宿15万 全国スタッフ会議 20万)								
事務消耗品費	50,000	50,000	0	0	0	0 名刺代、その他備品消耗品								
通信運搬費	101,000	101,000	0	0	0	0 郵便3万、電話2.6万、Zoom使用料 3契約 4.5万								
諸会費	45,000	45,000	0	0	0	0 シーズ3万、日本NPOセンター1万								
雑費	730,000	10,000	0	720,000	0	0 NL発送経費他								
資料印刷費	1,201,000	75,000	0	1,126,000	0	0 封筒7.5万、NL印刷費用								
総会関係費用	680,000	680,000	0	0	0	0 会場費、備品、資料代、通信費								
外部委託料	2,200,000	1,700,000	500,000	0	0	0 事務48万、会計税務25.2万、決算13万、法務10万、決済サービス利用(発送含)63万、WEB外部委託50万他								
支払手数料	500,000	500,000	0	0	0	0 振込手数料25万、EB使用料5万(2.5万×2)、会費払込手数料20万								
賃貸料	980,000	980,000	0	0	0	0 家賃64.8万(5.4万×12か月)、倉庫(中部、関西)28.6万、セミナー倉庫代 3万他								
租税公課等	300,000	300,000	0	0	0	0 法人税均等割7万、消費税23万(8%)								
管理費計	12,090,000	7,991,000	1,215,000	2,484,000	400,000									
支出合計	43,335,000													
当期収支差額	▲ 2,351,000													
前期繰越収支差額	29,358,342													
次期繰越収支差額	27,007,342													

<第3号議案> 平成29年度役員を選任について

(普通決議:総会に出席した正会員の過半数による議決)

1. 平成29年度の理事候補者 (敬称略、50音順)

再任 荒金 雅子
再任 酒井 麻里
再任 加藤貴美子
再任 亀井 直人
再任 鳥羽 秀人
再任 中西 百合
再任 中野 功
再任 疋田 恵子
再任 平井 雅
新任 小池 秀裕
新任 山根 弘和

2. 平成29年度の監事候補者 (敬称略、50音順)

再任 長橋 良智
新任 小藤 輝正

<第4号議案> 定款の一部変更について

(特別決議:総会に出席した正会員の4分の3以上の多数による議決)

変更理由:平成28年10月東京都から条文間に齟齬が生じている箇所を指摘されたため。

(第15条第3項、第23条第8号・第9項、第30条第2項)

実勢を踏まえ、理事会の効率的な運営に資するため。

(第28条、第34条第4項、第37条第3項、第46条、第47条)

平成24年及び平成28年6月特定非営利活動促進法の改正に伴い、改正する必要があったため。

(第12条、第39条、第45条、第55条)

定款の一部を、以下の通り変更する。

変更前	変更後
(拋出金品の不返還) 第12条 既納の入会金、会費及びその他の拋出金品は、返還しない。	第12条 <u>削除</u>
(職務) 第15条 会長は、この法人を代表し、その業務を総理する。	(職務) 第15条 会長は、この法人を代表し、その業務を総理する。
2 略	2 略
3 理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び理	3 理事は、理事会を構成し、この定款の定め若しく

<p>事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。</p> <p>4 監事は、次に掲げる職務を行う。</p> <p>(1) ～(5) 略</p> <p>(権能)</p> <p>第23条 総会は、以下の事項について議決する。</p> <p>(1) 定款の変更</p> <p>(2) 解散</p> <p>(3) 合併</p> <p>(4) 事業計画及び活動予算並びにその変更</p> <p>(5) 事業報告及び活動決算</p> <p>(6) 役員を選任又は解任、職務及び報酬</p> <p>(7) 入会金及び会費の額</p> <p>(8) 借入金(その事業年度内の収入をもって償還する短期借入金を除く。第50条において同じ。)その他新たな義務の負担及び権利の放棄</p> <p>(9) 事務局の組織及び運営</p> <p>(10) その他運営に関する重要事項</p> <p>(議決)</p> <p>第28条 総会における議決事項は、第25条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。</p> <p>2 略</p> <p>(議事録)</p> <p>第30条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。</p> <p>(1) 日時及び場所</p> <p>(2) 正会員総数及び出席者数(書面表決者等又は表決委任者がある場合にあつては、その数を付記すること。)</p> <p>(3) 審議事項</p> <p>(4) 議事の経過の概要及び議決の結果</p> <p>(5) 議事録署名人の選任に関する事項</p>	<p>は総会又は理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。</p> <p>4 監事は、次に掲げる職務を行う。</p> <p>(1) ～(5) 略</p> <p>(権能)</p> <p>第23条 総会は、以下の事項について議決する。</p> <p>(1) 定款の変更</p> <p>(2) 解散</p> <p>(3) 合併</p> <p>(4) 事業計画及び活動予算</p> <p>(5) 事業報告及び活動決算</p> <p>(6) 役員を選任又は解任、職務及び報酬</p> <p>(7) 入会金及び会費の額</p> <p><u>(8) 会員の除名</u></p> <p><u>(9) 資産の管理の方法</u></p> <p><u>(10) 借入金(その事業年度内の収入をもって償還する短期借入金を除く。第50条において同じ。)その他新たな義務の負担及び権利の放棄</u></p> <p><u>(11) その他運営に関する重要事項</u></p> <p>(議決)</p> <p>第28条 総会における議決事項は、第25条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。 <u>ただし、緊急の場合については、総会出席者(書面表決者を除く)の2分の1以上の同意により議題とすることができる。</u></p> <p>2 略</p> <p>(議事録)</p> <p>第30条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。</p> <p>(1) 日時及び場所</p> <p>(2) 正会員総数及び出席者数(書面又は電磁的方法による表決者若しくは表決委任者がある場合にあつては、その数を付記すること。)</p> <p>(3) 審議事項</p> <p>(4) 議事の経過の概要及び議決の結果</p> <p>(5) 議事録署名人の選任に関する事項</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- 2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印しなければならない。

(招集)

第34条 理事会は、会長が招集する。

- 2 会長は、第33条第2号及び第3号の規定による請求があったときは、その日から30日以内に理事会を招集しなければならない。
- 3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも14日前までに通知しなければならない。

(表決権等)

第37条 各理事の表決権は、平等なるものとする。

- 2 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決することができる。

- 3 前項の規定により表決した理事は、第38条第1項第2号の適用については、理事会に出席したものとみなす。

- 4 理事会の議決について、特別の利害関係を有する理事は、その議事の議決に加わることができない。

(議事録)

第38条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 理事総数、出席者数及び出席者氏名（書面表決者にあつては、その旨を付記すること。）

- 2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印しなければならない。

(招集)

第34条 理事会は、会長が招集する。

- 2 会長は、第33条第2号及び第3号の規定による請求があったときは、その日から30日以内に理事会を招集しなければならない。
- 3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも14日前までに通知しなければならない。

4 第32条第2号及び第3号の規定する事項は、ウェブ会議、テレビ会議等のシステムによって開催することができる。

(表決権等)

第37条 各理事の表決権は、平等なるものとする。

- 2 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決することができる。

3 やむを得ない理由により理事会の会場に来ることができない理事は、ウェブ会議、テレビ会議や音声会議のシステムによって理事会に参加し、表決することができる。

- 4 前二項の規定により表決した理事は、第38条第1項第2号の適用については、理事会に出席したものとみなす。

- 5 理事会の議決について、特別の利害関係を有する理事は、その議事の議決に加わることができない。

(議事録)

第38条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 理事総数、出席者数及び出席者氏名（ウェブ会議、テレビ会議や音声会議のシステムによる出席者がある場合及び書面表決者にあつ

<p>(3) 審議事項 (4) 議事の経過の概要及び議決の結果 (5) 議事録署名人の選任に関する事項 2 略</p> <p>(資産の構成)</p> <p>第 39 条 この法人の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。</p> <p>(1) 設立当初の財産目録に記載された資産 (2) 入会金及び会費 (3) 寄付金品 (4) 財産から生じる収入 (5) 事業に伴う収入 (6) その他の収入</p> <p>(暫定予算)</p> <p>第 45 条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、会長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前事業年度の予算に準じ収入支出することができる。</p> <p>2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。</p> <p>第 46 条 略</p> <p>(予算の追加及び更正)</p> <p>第 47 条 予算議決後にやむを得ない事由が生じたときは、総会の議決を経て、既定予算の追加又は更正をすることができる。</p> <p>(公告の方法)</p> <p>第 55 条 この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。</p>	<p>ては、その旨を付記すること。)</p> <p>(3) 審議事項 (4) 議事の経過の概要及び議決の結果 (5) 議事録署名人の選任に関する事項 2 略</p> <p>(資産の構成)</p> <p>第 39 条 この法人の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。</p> <p>(1) 設立当初の財産目録に記載された資産 (2) 入会金及び会費 (3) 寄付金品 (4) 財産から生じる<u>収益</u> (5) 事業に伴う<u>収益</u> (6) その他の<u>収益</u></p> <p>(暫定予算)</p> <p>第 45 条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、会長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前事業年度の予算に準じ<u>収益費用</u>を講じることができる。</p> <p>2 前項の<u>収益費用</u>は、新たに成立した予算の<u>収益費用</u>とみなす。</p> <p>第 46 条 略</p> <p>(予算の追加及び更正)</p> <p>第 47 条 予算議決後にやむを得ない事由が生じたときは、<u>理事会</u>の議決を経て、既定予算の追加又は更正をすることができる。</p> <p>(公告の方法)</p> <p>第 55 条 この法人の公告は、官報に掲載して行う。<u>ただし、法第 28 条の 2 第 1 項に規定する貸借対照表の公告については、この法人のホームページに掲載して行う。</u></p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------